



嘉麻市ワンヘルス推進宣言

新型コロナウイルス感染症をはじめとする人獣共通感染症は、生態系の劣化、人口増加、土地利用の変化、気候変動等によって動物と人との関係が変化したために、元々野生動物が持っていた病原体が、様々なプロセスを経て人にも感染可能になったものであるとされています。

こうした中で、人獣共通感染症を予防するために、「人と動物の健康と環境の健全性是一つ」と考えるワンヘルスの理念に基づく総合的な取り組みが求められています。

福岡県では、全国に先駆けて「福岡ワンヘルス推進基本条例」を制定しワンヘルスの理念の実践に関する課題に取り組むための基本理念、基本方針及びその基盤となる措置等に関し必要な事項を定めるとともに、行動計画を策定し、県民、事業者、関係団体の皆さんをはじめ、市町村、近隣自治体、国などと連携・協力し、この行動計画に基づく施策を着実に進めていき、「人と動物の健康および健全な環境が調和した社会」を目指しています。

さらには、令和4年10月にはワンヘルスの取り組みの実効性を確保するため、県や市町村、事業者、県民が担うべき責務を定めたワンヘルスの実践促進に関する条例を制定しております。

本市は、人と動物の健康及び環境の健全性を一体的に守るため、ワンヘルスの理念のもと、下記の事項に取り組み、ワンヘルスを推進することをここに宣言します。

記

- 1 ワンヘルス実践(人と動物の健康及び環境の健全性を一体的に守るための6つの課題への取り組み)の基本方針を具体化する福岡県行動計画に連携し、協力するとともに、ワンヘルス実践施策を積極的に推進すること。
- 2 市民へのワンヘルス周知に努め、理解の促進を図り、その実践活動に対し、必要な支援を行うこと。

令和5年2月1日 嘉麻市長

赤間幸弘